

保健所広報活動の新たな展開 ～感染症予防の効果的な普及啓発を中心に～

北多摩北部保健医療圏

実施年度 開始 令和元年度 終了 令和2年度

背景

- 多摩小平保健所においては、ホームページ、健康情報誌、所内企画展示等による広報活動を実施しているが、適時・適切な情報を市民にわかりやすく、かつ効果的に発信していく必要がある。
- 特に感染症対策については、毎年、秋から冬にかけ、季節性インフルエンザや感染性胃腸炎の集団感染事例が発生し、施設、市等と保健所が連携し、迅速な初動調査や二次感染防止策に努めているが、何よりも感染症にかからないための平常時からの感染予防策の徹底が重要である。そのために市民一人一人が、基本的な予防対策を行えるよう普及啓発を継続的に行うことが必要である。

目標

【基本的な考え方、目指す方向性】
所内各担当で個別管理していた広報手段・普及啓発媒体等を集約し共有化するとともに、内容を検証する。各課の連携による広報活動を展開し、相乗効果を狙う。

- 当所における広報活動をより効果的に展開するため、専門家の助言を得て検証し改善を図る。
- 当所オリジナルキャラクター「あらうさぎ」「ますくま」を活用した普及啓発を強化し、認知度を高めることにより、手洗いや咳エチケット等、感染症予防策への関心を高める。
- 正しい手洗いや咳エチケットの情報を提供し、市民が基本的な感染症予防対策を実践できることを目指す。

事業内容

新型コロナウイルス感染症の影響により当初計画していたイベントでの普及啓発活動等ができなかったため、事業計画を見直し、都民ニーズの高い情報を提供できるように工夫した。

また、前年度に行った広報活動の検証、改善結果を踏まえ、オリジナルキャラクターを効果的に活用した広報活動の展開を図った。

【前年度の取組を踏まえた広報活動の展開】

- オリジナルキャラクター「あらうさぎ」「ますくま」を活用した広報活動の展開
 - オリジナルキャラクターのぬいぐるみ、たすき、のぼりの作成
 - 着ぐるみを活用した普及啓発（保育園への貸出、動画作成）
- ホームページアクセス数の分析、ホームページの構成の見直し

【新型コロナウイルスに関する積極的な広報活動の展開】

- 新型コロナウイルス感染症予防用「NO！三密」ポスターの作成・配布
- 新型コロナウイルス感染症関連のホームページについて、市民ニーズ等を踏まえアクセスしやすく、より分かりやすい構成に修正
- 「あなたにおくる健康情報」11月号 感染症予防を特集
- 市報への記事掲載

評価

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため当初予定していたイベントでの広報活動や感染防止啓発動画の作成ができなかったが、2年間の取組で、①「所内の広報手段、普及啓発媒体の集約」、②「広報に関する職員の意識とスキルの向上」、③「普及啓発ツールの拡充」、④「新型コロナウイルス感染症に関する普及啓発の充実」などの成果をあげることができた。

問合せ先

多摩小平保健所 企画調整課 企画調整担当
 電話 042-450-3111
 ファクシミリ 042-450-3261
 E-mail S0000351@section.metro.tokyo.jp

北多摩北部

保健所広報活動の新たな展開 ～感染症予防の効果的な普及啓発を中心に～

1 事業背景

多摩小平保健所においては、ホームページ、健康情報誌、所内企画展示等、様々な媒体による広報活動を実施しているが、適時・適切な情報をより分かりやすく、かつ効果的に市民に発信していく必要がある。

特に感染症対策については、毎年、秋から冬にかけ、季節性インフルエンザや感染性胃腸炎の集団感染事例が発生し、施設、市等と保健所が連携し、迅速な初動調査や二次感染防止策に努めているが、何よりも感染症にかからないための平常時からの感染予防策の徹底が重要である。そのために市民一人一人が、基本的な予防対策を行えるよう普及啓発を継続的に行うことが必要である。

2 事業目標

【基本的な考え方、目指す方向性】

所内各担当で個別管理していた広報手段・普及啓発媒体等を集約し共有するとともに、内容を検証する。各課の連携による広報活動を展開し、相乗効果を狙う。

- ・ 当所の広報活動をより効果的に展開するため、専門家の助言を得て検証し改善を図る。
- ・ 当所オリジナルキャラクター「あらうさぎ」「ますくま」を活用した普及啓発を強化し、認知度を高めることにより、手洗いや咳エチケット等、感染症予防策への関心を高める。
- ・ 正しい手洗いや咳エチケットの情報を提供し、市民が基本的な感染症予防対策を実践できることを目指す。

3 事業内容

令和元年度、2年度の2か年にわたり、「広報活動の検証、改善」「感染症予防の普及啓発」について、以下の取組を行った。

	令和元年度	令和2年度
広報活動の検証、改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内の広報手段、普及啓発媒体の集約 ・ 広報活動に関する所内研修 ・ 新たな広報活動の展開（広報物の改善、オリジナルキャラクターの活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ むいぐるみ等の作成 ・ 着ぐるみの保育園への貸出、動画作成 ・ ホームページアクセス数等の分析・構成見直し
感染症予防の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着ぐるみの作成 ・ 感染予防キャンペーンソングの作成 ・ リーフレット及び普及啓発グッズの作成・配布 ・ 市民まつり等での手洗い、咳エチケットの普及啓発キャンペーンの展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「NO!三密」ポスターの作成 ・ 新型コロナ関連ホームページの構成見直し、拡充 ・ 保健所広報紙で感染症予防を特集 ・ 市健康主管課と連携し、市報に感染症予防の普及啓発記事を掲載

4 令和2年度の取組

新型コロナウイルス感染症の影響により当初計画していたイベントでの普及啓発活動等がで
きなかったため、事業計画を見直し、都民ニーズの高い情報を提供できるように工夫した。

また、前年度に行った広報活動の検証、改善結果を踏まえ、オリジナルキャラクターを効果
的に活用した広報活動の展開を図った。

(1) 前年度の取組を踏まえた広報活動の展開

ア オリジナルキャラクターを活用した広報活動の展開

当保健所広報の重要なツールであるオリジナルキャラクター「ますくま」「あらうさ
ぎ」を最大限に活用し、親しみやすく目を引く広報活動に取り組んだ。

(ア) オリジナルキャラクターのぬいぐるみ、たすき、のぼりの作成

着ぐるみが活動できない暑い時期等に保健所や圏域各市が開催するイベント等に
おける啓発ツールとして、オリジナルキャラクターのぬいぐるみ等を作成した。
ポーズが自由にできるように腕の中に針金を入れ、物を持てるように手にマジック
テープを付けた。たすきとのぼりもあわせて作成し、感染症対策だけでなく、各種
月間等の周知にも活用できるようにした。たすきとのぼりの作成に当たっては、所
の情報戦略会議のメンバーを中心とした各担当の若手職員等にキャッチコピーやデ
ザインを募り、感染症対策以外の分野での活用を拡充できるようにした。

イベント以外にも保健所で作成する動画等に活用したり、所内の展示コーナーに
展示する予定。



(左) 作成したぬいぐるみ、のぼり、たすき
(右) のぼりのデザイン
(下) のぼり、たすきのキャッチコピー



No.	担当名	キャッチコピー	No.	担当名	キャッチコピー
1	企画調整	ますくまと一緒に咳エチケット!	9	薬事指導	STOP! 薬物乱用～断る勇気～
2		あらうさぎと一緒に手を洗おう!	10		薬と健康の週間～薬は正しく使いましょう～
3		なくそう! 望まない受動喫煙	11	保健栄養	野菜をたっぷり食べよう
4	保健医療	いつまでもキレイな歯で笑おう	12		元気な毎日は バランスのよい食事から
5	食品衛生	鶏肉に、カンピロいるぞ、よく加熱!	13	感染症対策	感染防止徹底宣言!
6		菌をつけない・ふやさない・やっつける	14	地域保健	いのち支える ひとりじゃないよ
7	環境衛生	花粉飛んでます	15		じぶんに献身、がん検診!
8		蚊が出るぞ みんなでなくそう たまり水			

(イ) 着ぐるみの保育園への貸出

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため圏域各市が開催する「市民まつり」等のイベント等が中止され、着ぐるみの活用機会が減ってしまった。そのため、感染症予防啓発ポスター（後述）に同封して管内の保育園・幼稚園等に対して貸出の案内を送付したところ、2つの保育園から申込があり、手洗いや咳エチケットなど感染症予防の普及啓発に活用していただいた。

(ウ) 着ぐるみを活用した啓発用動画の作成

令和元年度に作成した着ぐるみ、感染予防キャンペーンソングを活用した啓発用動画作成に取り組んだ。環境衛生担当が着ぐるみを活用し、花粉症対策の動画と換気対策の動画を作成し、東京動画に掲載した。

感染防止啓発動画は新型コロナ対応のため令和2年度内に作成できなかったが、着ぐるみ、キャンペーンソング（BGM）を活用した蚊対策の普及啓発動画は令和3年5月に完成し、東京動画に掲載した。



換気対策と蚊対策の動画

♩125 しっかり手洗い きっちりマスク

AL

C C Dm G

た だ い ま の あ と に (手洗い) い た だ き ま す の ま え に (手洗い)

5 Em7 A7 Dm7 G C

お ト イ レ の あ と に (手洗い) わ す れ ず に せ い け つ に

感染予防キャンペーンソング（一部）

子供向けに手洗い・マスク着用を呼びかけることができるよう、所内で検討を重ねた歌詞に、親しみやすく楽しいメロディを外部の方に依頼してつけてもらったもの。曲中の掛け声は職員が参加して録音した。歌付き、カラオケ、BGMなどのバージョンがある。

イ ホームページアクセス数の分析、ホームページの構成の見直し

ホームページについては、引き続きコンテンツごとのアクセス数や要因を所内で共有し、ホームページ作成に活かすようにした。

(2) 新型コロナウイルスに関する積極的な広報活動の展開

ア 新型コロナウイルス感染症予防用「NO！三密」ポスターの作成・配布

オリジナルキャラクターや令和元年度に所内で実施した広報活動に関する所内研修で学んだ工夫点を活用し、新型コロナウイルス感染症予防用「NO！三密」ポスター（A2判、A3判、A4判）を作成した。令和元年度から所内で集約し、共有している各種通知等送付先を活用し、管内の様々な関係機関に送付し、周知を図った。

配布先：管内小・中・高校、幼稚園、保育園、高齢者施設、障害者施設、社協、環境衛生関係施設、食協、商工会、病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、市役所、図書館、公民館、地域センター、スポーツセンター、駅等



「NO！三密」ポスター

イ 新型コロナウイルス感染症関連のホームページの構成見直し

新型コロナウイルス感染症に関する周知事項は、発生動向や国や都の施策に応じて目まぐるしく変更されたため、最新の案内をわかりやすく、検索されやすい形でホームページに掲載する必要があった。そのため、令和元年度の研修で学んだことやアクセス数等の分析結果を活用しながら、アクセスしやすく、より分かりやすい構成となるよう適宜掲載内容の更新を行った。

ウ 保健所広報紙への記事掲載

当保健所で年3回発行している広報紙「あなたにおくる健康情報」令和2年11月号において「新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの予防のために」の特集記事を掲載した。令和元年度の研修で学んだ「伝えたいことを絞り、簡潔に書く」を心掛けるとともに、オリジナルキャラクターを配置して親しみやすくなるようにした。また、効果的な手洗い方法の動画へのリンクにはQRコードをつけ、アクセスしやすくなるようにした。

「あなたにおくる健康情報」
令和2年11月号



エ 市報への記事掲載

管内の市の健康推進主管課と連携し、市報に感染症予防の記事を掲載した。記事には、当保健所で作成した①東京動画「めがせ！手洗いマスターあろうさぎと手を洗おう！」を案内するQRコード、②洗い残しが多い場所を示した図、③オリジナルキャラクター「ますくま」「あろうさぎ」を活用していただいた。

5 評価・まとめ

2年間の取組で以下の成果があった。

① 所内の広報手段、普及啓発媒体の集約

所内各担当で個々に管理・実施していた名簿、啓発媒体、通知時期等を集約し、所内で共有することにより、効率的な広報活動につながった。

② 広報に関する職員の意識とスキルの向上

所内研修により、多くの気づきやヒントを得ることができ、職員自らが広報資料の内容を点検、改善していく意識が高まった。また、2年間の取組を通じて各担当の職員が自由な発想で効果的・効率的な広報を検討し、実施していく風土が醸成された。

③ 普及啓発ツールの拡充

多摩小平保健所オリジナルキャラクターの着ぐるみ、ぬいぐるみ、キャンペーンソングを作成したことにより、感染症予防のみならず、他の事業の普及啓発にも活用できるツールが拡充した。また、これらのツールを使って親しみやすく、注目されやすい独自の広報活動を行う幅が広がった。

④ 新型コロナウイルス感染症に関する普及啓発の充実

新型コロナウイルス感染症対策の普及啓発が非常に重要な時期に、課題別事業で作成した様々な媒体、ツールを活用し、保健所独自の取組として都民や管内の各種関係機関に発信することができた。

事業目標として掲げた「所内の広報手段・普及啓発媒体等の集約・検証、各課の連携による広報活動の展開」については、概ね達成することができた。

一方、感染症予防対策の普及啓発については、「当所オリジナルキャラクター「あらうさぎ」「ますくま」を活用した普及啓発の強化」は達成できたが、新型コロナウイルス感染症により圏域内のイベント等がほとんど中止となり、活用の場が制限された。

6 今後の取組（令和3年度以降）

今後は本事業で作成した様々な普及啓発ツール（着ぐるみ、ぬいぐるみ、キャンペーンソング等）を積極的に活用し、各種広報活動を企画していくとともに、前年度に作成できなかった感染防止啓発動画を作成していく。

また、所内の広報手段、普及啓発媒体の集約等については、課題別事業終了後も継続して実施していくなど、引き続き効果的な広報活動を展開していきたい。

